

社員の働きがいの向上に向けた取り組み

「ダイバーシティ」の推進に向けて

JR東日本では、多様な人材がやりがいや充実感を感じながらいきいきと働くことにより、それぞれの能力を最大限に発揮し、役割を果たすことが、企業競争力を高めると考えています。

2004年から展開したポジティブ・アクション「Dプログラム」を発展させ、2009年より、性別に関わらずすべての社員が主体的に関わることをめざして、「ワーク・ライフ・プログラム」(愛称ワラプロ)を実施しています。今後も「ワラプロ」の定着をはかることにより、ダイバーシティを推進していきます。

【推進の目的】

多様な人材がその能力を最大限に発揮し、仕事上の責任を果たすとともに、やりがいや充実感を感じながらいきいきと働くことのできる企業をめざします。

【主軸となる考え方】

男女共同参画

ダイバーシティ

ワーク・ライフ・バランス

【取り組みの3本柱】

仕事と
育児・介護の
両立支援

社員の
能力発揮
支援

社員の
意識改革・
風土づくり



●社外からの評価

【「くるみん」取得】

次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画の達成に向け取り組んできた結果、2008年11月および2012年8月に「子育てサポート企業」として厚生労働大臣より認定され、次世代認定マーク「くるみん」を取得しました。



【「につけい子育て支援大賞受賞】

2010年度には、両立支援制度の拡充や4カ所におよぶ事業所内保育所の設置など、子育て支援へのさまざまな取り組みが評価され、日本経済新聞社が主催する第5回「2010年につけい子育て支援大賞」において、運輸業として初めて大賞を受賞しました。



●エルダー社員制度

定年退職後の雇用を希望する社員を満65歳に達するまで、「エルダー社員」として当社で再雇用する制度を設けています。定年を迎えた多くの社員が、グループ会社等にお

いて各自の能力やスキルを活かして働き続けるとともに、グループ全体でのノウハウ等の蓄積に寄与しています。

●研修制度

社員の能力開発の場として、さまざまな研修制度を設けています。

●集合研修

JR東日本総合研修センターをはじめとして、各支社の研修施設、総合訓練センター、技能教習所および営業トレーニングセンターにおいて数々の研修を実施しています。

●通信研修

自己啓発の一環として、一般教養・資格取得を主体とした社外通信研修、鉄道業務を主体とした社内通信研修を実施しています。

●社外研修

企業人としての幅広い視野と豊かな感性を養うために各種公開セミナーや海外研修への参加および専門的な知識習得のために国内大学への留学など、社外への研修参加を積極的に実施しています。

研修種別	2010年度	2011年度	主な研修概要
人材開発研修	30,700人	29,500人	●グループ会社の新任取締役・監査役セミナー ●マネジメント研修 ●管理者セミナー ●新入社員および若手社員研修 ●昇職試験合格者研修 ●My Project関係研修
知識・技術向上研修	61,500人	56,300人	●運転士、車掌養成研修 ●訓練センター・営業トレーニングセンター研修 ●各種業務知識・技術力向上研修
社外研修	5,500人	4,800人	●異業種交流研修 ●各種資格取得研修 ●海外研修
合計	97,700人	90,600人	

●技術アカデミー

意欲ある若手社員を鉄道技術の各分野の中核を担う人材に育てるため、2009年3月に「技術アカデミー」を設立しました。2012年3月開講の第4期では11系統48名が選抜され、約1年間職場を離れて本社で技術の学習に専念します。プロ

グラムは、各自の専門分野の理論・構造について深く学ぶとともに、鉄道技術・システム全体を俯瞰・理解できるものとしています。また、大学での研究やメーカーでの実習などを通じて、幅広い知識の習得をめざします。

●My Project

社員が一步踏み込んだ課題にも挑戦できるよう、従来の小集団活動・提案活動をバージョンアップさせ、2011年1月から「My Project」をスタートさせました。「My Project」は、「一人ひとりの発意でスタート」「手法は自由、プロ

セスを重視」「社員の成長が成果」という3つのポイントからなり、改善に取り組むことそのものを「人材育成の機会」と位置づけ、「自ら考え自ら行動する社員」が育成されることをめざしています。

福利厚生

当社では、社宅・寮、病院、保養施設などの充実をはかるとともに、ジェイアールグループ健康保険組合およびJR東日本グループ共済会などの各種制度を通じて、社員とその家族が豊かで健康的な生活を営めるような、福利厚生の確立に努めています。

社宅・寮

社宅・寮の新設・改善などの設備の充実をはかっています。また、持家推進のための各種制度の拡充もあわせて行っています。

●社宅・寮 (2012年4月1日現在)

社宅	14,600戸
寮	105カ所 定員9,300人



寮「ドルミエール大塚」

余暇支援

●レクリエーション

当社は、社員の健康増進と明るい職場づくりに寄与するために、レクリエーション活動を積極的に支援しています。

また現在、剣道、柔道、バレーボール、絵画、囲碁、将棋など26種目の体育・文化クラブが活発な活動を行っています。

●保養施設

部外施設との利用契約によるバラエティーに富んだ施設を用意するとともに、料金の一部を補助するなど、社員・家族の多様化するニーズに応えています。

(2012年7月1日現在)

会社保有施設(社員宿泊所等)	2カ所
会員制リゾート施設	約50カ所
割引契約施設	約2,000カ所



利用補助施設
「ホテルメトロポリタン(池袋)」

直営医療機関

JR東京総合病院とJR仙台病院は、保険医療機関の指定を受け、社員・家族のほかに一般の方の診療も行い、地域医療に貢献しています。どちらの病院も最新の医療設備を備え、高度で良質な医療サービスを提供しています。

また、JR東日本健康推進センターと各鉄道健診センターでは、各種健康診断、職場巡視、作業環境測定など労働衛生に関する業務を行い、社員の健康管理に努めています。

●医療施設 (2012年4月1日現在)

病院	JR東京総合病院	448床
	JR仙台病院	197床
JR東日本健康推進センター		1カ所
鉄道健診センター		7カ所



JR東京総合病院

ジェイアールグループ健康保険組合

社員や家族の医療費などの給付を行っています。また、人間ドックなどの保健事業も行っています。

JR東日本グループ共済会

会員の相互扶助精神に基づく互助組織で、JR東日本グループ会社の社員等を対象としています。

給付事業として、

- ・私傷病により休業した場合の休業見舞金および退職等見舞金
 - ・死亡の場合の弔慰金および遺児等育英援助金
 - ・育児または介護のため休業した場合の育児休業援助金・介護休業援助金
 - ・社員が未就学の子を養育する場合の育児支援金
 - ・子弟等が大学などに進学する場合の教育資金貸付補助
 - ・私傷病により、入院した場合の入院見舞金および差額ベッド補助金
 - ・災害にあった場合の弔慰金、家族弔慰金および災害見舞金
 - ・結婚の場合の結婚祝福金など
- また、その他の事業として、
- ・災害にあった場合の災害貸付
 - ・ライフプラン実行のために資金が必要となった場合のライフプラン資金融資斡旋
 - ・団体保険(生命保険・医療保障保険)事務の取り扱い等も行っています。